

1. 履修上の注意

(1) 履修登録の上限

履修できる単位数の上限は1学期につき**24単位**です。

(2) 同一科目の重複履修

同一の授業科目は重複して履修することはできません。担当者が異なっても同じ科目名であれば、同一科目とみなされます。ただし、履修した科目が不合格で単位が修得できなかった場合は、もう一度履修することができます。

(例)「基礎英語スキルズ(リーディング)」の授業は春学期と秋学期で違う担当者 → 同じ科目名なので同一科目 → 春学期に単位が修得できた場合、秋学期は履修できません。

(3) 人数制限科目

人数制限科目とは、履修する定員数が定められている科目のことです。開講科目表の備考欄に【〇〇名】という形で定員数が記載されています。

人数制限科目の履修希望者は、各学期の人数制限科目登録期間にLoyolaでエントリーを行う必要があります。

なお、抽選はコンピュータにより行われ、当選者のみ自動的に履修登録されます。人数制限科目に当選した場合、当選した科目を削除することはできません。ただし、必修科目を除き履修中止期間に履修中止を行う事ができます。

(4) 必修科目のクラス指定、ゼミ

必修科目は指定されたクラスを履修してください。1年次秋学期必修のプレ・ゼミナールとともに、2年次必修のゼミの選択・登録については1年次中に始まりますので掲示等に注意してください。

(5) TOEIC対策講座Ⅰ・Ⅱ

「TOEIC対策講座Ⅰ・Ⅱ」(各1単位)は1年次必修科目です。この科目の履修者は春学期末(7月)および秋学期末(1月)に行われるTOEIC-IP試験を受けることが単位の取得要件となっています。

(6) 英語スキルズ科目

原則として各学期に1科目までの履修とします。レベルは基礎、標準、準上級、上級に分かれているので、自分のレベルに合った科目を履修してください。

基礎英語スキルズ ……TOEICのスコアが300点以下を目安とします。

標準英語スキルズ ……TOEICのスコアが300～500点程度を目安とします。

準上級英語アカデミックスキルズ ……TOEICのスコアが400点以上を目安とします。

上級英語スキルズ ……TOEICのスコアが500点以上を目安とします。

(7) 英語ファンダメンタルズ

同科目は、本学の教育課程において効果的に学修を進めるために必要な英語力を十分に身につけていない学生を対象に、学修支援を行うことを目的とし設けられています。この科目の開講趣旨に基づき、1年次春学期の必修科目の「英語Ⅰ」(シラバスの特記事項にその旨記載されているクラスのみ)で学期末評価がFとなった学生は、全員この科目の履修および「P」の評価を受けることが義務付けられます。ただしこの科目による単位付与はありません。詳細はシラバスを参照してください。

(8) 人間学

「人間学Ⅰ」(2単位)は必修科目です。その他に教養科目の選択科目として教養科目群(人間学Ⅱを含む)から12単位を修得してください。

Nampet講師担当の「人間学Ⅰ」「人間学Ⅱ」を履修する場合は、TOEIC 400点以上取得していることが必要です。

- (9) 教養科目の「体育理論（ウエルネスと身体）」、「体育（球技1）」、「体育（球技2）」、「体育（体操）」は卒業要件単位として4単位まで算入されます。ただし、同一科目の重複履修はできません。
 (例) 春学期に「体育（球技1）」の単位を修得済の場合、秋学期の「体育（球技1）」は履修できません（体育理論（ウエルネスと身体）、体育（球技2）、体育（体操）は履修可能）。

【13年次生】

13年次以前に開講されていた体育理論・実技1、2、3を修得した学生は、それを含め、体育科目は卒業要件単位として4単位まで算入されますので注意してください。

(10) 外国語科目

基礎科目の「ドイツ語」「フランス語」「スペイン語」「中国語」は卒業要件単位として4単位まで算入されます。同一言語を4単位、または異なる言語をそれぞれ2単位ずつ4単位とすることができます。

(11) 他の科目の履修が前提となる科目

- ・ 児童英語教育演習A、児童英語教育演習B……履修するには、児童英語教育概説、児童英語指導者養成講座、第二言語習得のいずれかの単位を修得済であることが必要です。
- ・ 日本語教育演習……履修するには、日本語教育概論の単位を修得済であることが必要です。
- ・ 各外国語科目Ⅱ……履修するには、各外国語科目Ⅰの単位を修得済である、もしくはそれに相当する知識が必要です。

(12) 履修希望者が極めて少数の場合、開講を中止する場合があります。

2. 標準配当表

区分		1年次・春学期 第1 Semester (準備期)		1年次・秋学期 第2 Semester (発展期)		2年次・春学期 第3 Semester (応用期)		2年次・秋学期 第4 Semester (完成期)	
英語科目	必修 (10単位)	英語Ⅰ TOEIC対策講座Ⅰ	2 1	英語Ⅱ TOEIC対策講座Ⅱ	2 1	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
	選択必修 (6単位)	英語スキルズ	2	英語スキルズ	2	英語スキルズ	2		
教養科目	必修 (2単位)	人間学Ⅰ	2						
	選択 (12単位)	選択科目 (12)							
基礎／専門科目	必修 (8単位)	基礎ゼミナール	2	プレ・ゼミナール	2	ゼミナールⅠ	2	ゼミナールⅡ	2
	選択 (28単位)	選択科目 (28)							

3. コース制度

専門科目は「異文化理解」「英米文学研究」「言語研究」「言語教育」の4つの領域に分類されています。ある領域を集中してコースとして学ぶことも可能ですし、それぞれの領域から自由に科目を選択して履修することも可能です。

それぞれのコースの基礎科目（異文化理解：キリスト教文化入門または異文化間コミュニケーション、英米文学研究：英文学概論、言語研究：言語学概論、言語教育：児童英語教育概説または日本語教育概論）4単位+そのコースの関連科目を16単位以上、合計20単位以上修得した場合は、申請に基づき「コース修了証」を発行し、修了コース名を成績証明書に記載します。希望者は、2年次の秋学期の修正登録期間終了までに申請を行います（所定用紙）。

（注）2つのコースどちらにでも算入できる科目を修得した場合、それぞれのコースの修了科目として含めることができます。2コース分の修了証が申請可能な場合は、申請書を2枚提出してください。

<各コースの概要>

異文化理解コース	英米文学研究コース	言語研究コース	言語教育コース
さまざまな国の文化や社会、歴史、考え方などについて学びます。	英語圏の文学を通してさまざまな表現手法や思想について学びます。	ことばの仕組みや使い方、バリエーションなどについて学びます。	子どもたちへの英語の教え方や外国籍の方への日本語の教え方を、理論と実践の両面から学びます。

*以下に各年次生の各セメスターでの履修例を示します。あくまでも一例ですので、自己の目的や興味関心に従って個人の学修計画をたててください。なお、開講学期や時間割は年度によって変わります。

<異文化理解コース（例）>

1年次・春学期 第1セメスター		1年次・秋学期 第2セメスター		2年次・春学期 第3セメスター		2年次・秋学期 第4セメスター	
基礎ゼミナール	2	ブレ・ゼミナール	2	ゼミナールⅠ	2	ゼミナールⅡ	2
人間学Ⅰ	2	英語Ⅱ	2	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
英語Ⅰ	2	TOEIC対策講座Ⅱ	1	英語スキルズ	2	言語とリテラシー教育	4
TOEIC対策講座Ⅰ	1	英語スキルズ	2	国際関係論	4	文化人類学	4
英語スキルズ	2	教育学	4	日本文化	4	英米史	4
経済学	4	マスメディア論	4	異文化間コミュニケーション	4	東洋研究	4
基礎コンピューター演習	2	中国語Ⅰ	2				
合計 15 単位		合計 17 単位		合計 18 単位		合計 20 単位	
英語	5	英語	5	英語	4	英語	2
教養	8	教養	8	基礎/専門	14	基礎/専門	18
基礎/専門	2	基礎/専門	4				

2年間 計70単位

<英米文学研究コース（例）>

1年次・春学期 第1セメスター		1年次・秋学期 第2セメスター		2年次・春学期 第3セメスター		2年次・秋学期 第4セメスター	
基礎ゼミナール	2	ブレ・ゼミナール	2	ゼミナールⅠ	2	ゼミナールⅡ	2
人間学Ⅰ	2	英語Ⅱ	2	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
英語Ⅰ	2	TOEIC対策講座Ⅱ	1	英語スキルズ	2	体育(球技1)	2
TOEIC対策講座Ⅰ	1	英語スキルズ	2	体育理論(ウエルネスと身体)	2	英語史	4
英語スキルズ	2	基礎コンピューター演習	2	フランス語Ⅰ	2	英詩研究	4
宗教学	4	哲学	4	翻訳演習	4	映画と文学	4
歴史学	4	英文学概論	4	イギリスの文化と文学	4		
合計 17 単位		合計 17 単位		合計 18 単位		合計 18 単位	
英語	5	英語	5	英語	4	英語	2
教養	10	教養	6	教養	2	教養	2
基礎/専門	2	基礎/専門	6	基礎/専門	12	基礎/専門	14

2年間 計70単位

<言語研究コース（例）>

1年次・春学期 第1セメスター		1年次・秋学期 第2セメスター		2年次・春学期 第3セメスター		2年次・秋学期 第4セメスター	
基礎ゼミナール	2	ブレ・ゼミナール	2	ゼミナールⅠ	2	ゼミナールⅡ	2
人間学Ⅰ	2	英語Ⅱ	2	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
英語Ⅰ	2	TOEIC対策講座Ⅱ	1	英語スキルズ	2	マスメディア論	4
TOEIC対策講座Ⅰ	1	英語スキルズ	2	音声学	4	第二言語習得	4
英語スキルズ	2	女性と哲学	4	英語史	4	言語とリテラシー教育	4
心理学	4	言語学概論	4	日本語学	4	社会言語学	4
体育理論(ウエルネスと身体)	2	留学準備(オーストラリア)	2				
<u>合計 15 単位</u>		<u>合計 17 単位</u>		<u>合計 18 単位</u>		<u>合計 20 単位</u>	
英語	5	英語	5	英語	4	英語	2
教養	8	教養	4	基礎/専門	14	教養	4
基礎/専門	2	基礎/専門	8			基礎/専門	14

2年間 計70単位

<言語教育コース（例）>

1年次・春学期 第1セメスター		1年次・秋学期 第2セメスター		2年次・春学期 第3セメスター		2年次・秋学期 第4セメスター	
基礎ゼミナール	2	ブレ・ゼミナール	2	ゼミナールⅠ	2	ゼミナールⅡ	2
人間学Ⅰ	2	英語Ⅱ	2	英語Ⅲ	2	英語Ⅳ	2
英語Ⅰ	2	TOEIC対策講座Ⅱ	1	英語スキルズ	2	発達心理学	4
TOEIC対策講座Ⅰ	1	英語スキルズ	2	教育学	4	第二言語習得	4
英語スキルズ	2	哲学	4	児童英語教育演習A	4	児童英語教育演習B	4
体育(体操)	2	社会福祉入門	4	日本語学	4	バイリンガル教育	4
児童英語教育概説	4	ドイツ語Ⅰ	2				
<u>合計 15 単位</u>		<u>合計 17 単位</u>		<u>合計 18 単位</u>		<u>合計 20 単位</u>	
英語	5	英語	5	英語	4	英語	2
教養	4	教養	8	教養	4	基礎/専門	18
基礎/専門	6	基礎/専門	4	基礎/専門	10		

2年間 計70単位

4. 開講科目表

授業回数……◎＝週2回、○＝週1回、●＝週1回・2時限連続を表しています。

DPとの関連性……英語科ディプロマポリシー（P.5、34参照）で定める6つの能力について、特に重視している科目に◎、関連する科目に○がついています。

SL関連度……サービスラーニング活動（P.34～37参照）との関連度をA＝直接関連がある、B＝関連する領域である、あるいは関連する事例や知識を扱っているを表しています。

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DPとの関連性						SL関連度
		必修	選択	選択	春学期	秋学期				(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	
英語必修科目										V. 講義内容（シラバス）→ P.72～P.185						
ENG101	英語Ⅰ	2			◎		1	永野、平野、近藤、神谷、T.Gould、C.Oliver、狩野、Thomas、M.Lupas	クラス指定		○		◎		○	B
ENG102	英語Ⅱ	2				◎	1	平野、神谷、T.Gould、岩崎、M.Lupas、R.Burton、G.Freddes、J.Hirai、Z.Kelly、G.Stewart、M.Trazi Williams	クラス指定		○		◎	○	○	B
ENG201	英語Ⅲ	2			◎		2	R.Burton、G.Freddes、D.Heath、J.Hirai、Z.Kelly、G.Stewart、M.Trazi Williams	クラス指定		○		◎		○	B
ENG202	英語Ⅳ	2				◎	2	M.Lupas、G.Freddes、D.Heath、J.Hirai、松岡、M.Nepomuceno、G.Stewart、土屋、M.Trazi Williams	クラス指定		○		◎	○		B
ENG111	TOEIC対策講座Ⅰ	1				○	1	神谷、C.Oliver、M.Andrade、下山	クラス指定				◎	○		
ENG112	TOEIC対策講座Ⅱ	1				○	1	T.Gould、M.Lupas、M.Andrade、下山	クラス指定				◎	○		
英語選択必修科目（英語スキルズ）										V. 講義内容（シラバス）→ P.186～P.235						
ENG121	基礎英語スキルズ（生活の英語）	2			◎	◎	1・2	M.Nepomuceno	[人]35名				◎			
ENG122	基礎英語スキルズ（ライティング）	2			◎	◎	1・2	青田	[人]35名				◎			
ENG123	基礎英語スキルズ（リーディング）	2			◎	◎	1・2	（春）松岡 （秋）石原	[人]各60名				◎			
ENG120	基礎英語スキルズ（文法・語彙）	2			◎	◎	1・2	（春）石原 （秋）土屋	[人]各60名				◎			
ENG150	標準英語スキルズ（職場の英語）	2			◎		1・2	G.Stewart	[人]35名				◎			
ENG155	標準英語スキルズ（旅行の英語）	2				◎	1・2	Z.Kelly	[人]35名				◎	○		
ENG160	標準英語スキルズ（メディアの英語）	2				◎	1・2	J.Hirai	[人]60名				◎	○		
ENG152	標準英語スキルズ（文法・語彙）	2			◎	◎	1・2	（春）石原 （秋）松岡	[人]各60名				◎			
ENG153	標準英語スキルズ（ライティング）	2			◎	◎	1・2	（春）M.Andrade （秋）柳田	[人]各35名				◎			
ENG151	標準英語スキルズ（リーディング）	2			◎	◎	1・2	（春）松岡 （秋）石原	[人]各60名				◎			
ENG159	標準英語スキルズ（パブリックスピーキング）	2			◎		1・2	M.Trazi Williams	[人]35名				◎			
ENG158	標準英語スキルズ（ディスカッション）	2			◎		1・2	M.Nepomuceno	[人]35名				◎			
ENG156	標準英語スキルズ（アカデミックリスニング）	2					1・2	2017年度休講	[人]60名				◎			

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DPとの関連性						SL関連度
		必修	選択	選択	春学期	秋学期				(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	
ENG157	標準英語スキルズ (TOEIC実践演習講座)		2		●		2	柳田	[人]35名				◎	○		
ENG161	標準英語スキルズ (編入対策)		2		◎		1・2	柳田	[人]35名				◎			
ENG180	準上級英語アカデミック スキルズ (諸学問領域)		2		◎		1・2	T. Gould	[人]35名				◎			
ENG181	準上級英語アカデミック スキルズ (社会学)		2			◎	1・2	C. Oliver	[人]35名				◎			
ENG220	上級英語スキルズ (ライティング)		2				1・2	2017年度休講	[人]35名				◎			
ENG221	上級英語スキルズ (ディベート)		2		◎		1・2	R. Burton	[人]35名				◎			
ENG223	上級英語スキルズ (学術論文作法)		2		◎		1・2	G. Fredes	[人]35名				◎			
ENG224	上級英語スキルズ (多読速読)		2				1・2	2017年度休講	[人]60名				◎			
ENG222	上級英語スキルズ (TOEIC実践演習講座)		2		●		2	R. Burton	[人]35名				◎	○		
ENG225	上級英語スキルズ (編入対策)		2		◎		1・2	平野	[人]35名				◎			
英語選択科目										V. 講義内容 (シラバス) → P. 236 ~ P. 239						
ENG000	英語ファンダメン タルズ			0	○	○	1	(春) 岩崎 (秋) 狩野	履修対象者は P. 57(7)を参照				◎			
教養必修科目										V. 講義内容 (シラバス) → P. 240 ~ P. 255						
SCH100	人間学 I		2		○		1	丹木、岩崎、 浅野、島村、 田村、W. Nampet	・クラス指定 ・P. 57(8)の履修上 の注意参照 ・DPとの関連性(4)は、 人間学 I (S)のみ○	◎	○	○	○*	○	○	B
教養選択科目										V. 講義内容 (シラバス) → P. 256 ~ P. 307						
SCH101	人間学 II			2		○	1・2	岩崎、李、 W. Nampet	・P. 57(8)の履修上 の注意参照 ・()付きは、人間 学 II (S)のみ○	◎	◎	○		○	○	B
HST200	歴史学			4	◎		1・2	森下				○	◎		○	B
PHL200	哲学			4	◎	◎	1・2	(春) 丹木 (秋) 浅野			○	○	◎		○	
PHL202	女性と哲学			4		◎	1・2	浅野			○	○	◎		○	B
REL200	宗教学			4	◎		1・2	M. Lupas			○	○	◎			B
MUS200	音楽			4		◎	1・2	北村				◎		○		
SOC200	社会学			4	◎	◎	1・2	栃内				○	◎		○	B
LAW210	日本国憲法			4	◎		1・2	萩原				○	◎		○	B
LAW200	法学			4		◎	1・2	萩原				○	◎			
EDU200	教育学			4	◎	◎	1・2	(春) 杉村 (秋) 栗原				○	◎		○	B
ECN200	経済学			4	◎		1・2	白瀬				○	◎			B
BUS200	経営学			4		◎	1・2	白瀬				○	◎			

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DPとの関連性						SL関連度
		必修	選択	選択	春学期	秋学期				(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	
SWF200	社会福祉入門			4		●	1・2	栃本・寺田（輪講）		○	○	◎			○	B
JRN201	マスメディア論			4	◎	◎	1・2	沈			○	◎			○	B
COM101	基礎コンピューター演習			2	○	○	1・2	(春) 森本 (秋) 津垣	[人]各36名			◎				
MTH200	数学			4		◎	1・2	津垣				◎				
PSY200	心理学			4	◎		1・2	森崎				◎		○		
PED100	体育理論 (ウエルネスと身体)			2	○	○	1・2	木戸		○		◎			○	
PED110	体育（球技1）			1	○	○	1・2	木戸	[人]各36名			◎				
PED111	体育（球技2）			1	○	○	1・2	原川	[人]各36名			◎				
PED112	体育（体操）			1	○	○	1・2	原川	[人]各36名			◎				
基礎選択科目（異文化理解コース）									各コースの基礎科目は1年次履修が望ましい V. 講義内容（シラバス）→ P. 308～P. 311							
REL210	キリスト教文化入門			4		◎	1・2	丹木（輪講）		○	○	○		◎		
IDS210	異文化間コミュニケーション			4	◎		1・2	C. Oliver	言語研究コースにも算入可		○	○	○	◎	○	B
基礎選択科目（英米文学研究コース）									各コースの基礎科目は1年次履修が望ましい V. 講義内容（シラバス）→ P. 312～P. 315							
LIT201	英文学概論			4	◎	◎	1・2	(春) 山本 浩 (秋) 平野				◎			○	
基礎選択科目（言語研究コース）									各コースの基礎科目は1年次履修が望ましい V. 講義内容（シラバス）→ P. 316～P. 319							
LNG200	言語学概論			4	◎	◎	1・2	(春) 神谷 (秋) 柳田			○	◎	○	○		B
基礎選択科目（言語教育コース）									各コースの基礎科目は1年次履修が望ましい V. 講義内容（シラバス）→ P. 320～P. 323							
EDU205	児童英語教育概説			4	◎		1・2	狩野			○	○	◎	○		A
JPN210	日本語教育概論			4		●	1・2	宮崎			○	○	○		◎	A
基礎選択科目									V. 講義内容（シラバス）→ P. 324～P. 347							
GMN101	ドイツ語 I			2	◎	◎	1・2	工藤	[人]各35名			○	◎			
GMN102	ドイツ語 II			2	◎		1・2	工藤	[人]35名、ドイツ語 I 既修者か、それに相当する者			○	◎			
FRN101	フランス語 I			2	◎	◎	1・2	谷口	[人]各35名			○	◎			
FRN102	フランス語 II			2	◎		1・2	谷口	[人]35名、フランス語 I 既修者か、それに相当する者			○	◎			
SPN101	スペイン語 I			2	◎	◎	1・2	山本 浩史	[人]各35名			○	◎			
SPN102	スペイン語 II			2	◎		1・2	山本 浩史	[人]35名、スペイン語 I 既修者か、それに相当する者			○	◎			
CHN101	中国語 I			2	◎	◎	1・2	廣重	[人]各35名			○	◎			
CHN102	中国語 II			2	◎		1・2	廣重	[人]35名、中国語 I 既修者か、それに相当する者			○	◎			

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DPとの関連性						SL関連度			
		必修	選択	選択	春学期	秋学期				(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)				
JPN250	日本語表現法			4	◎	◎	1・2	河北	[人]各35名		○	○	◎				B		
SEF200	キャリアプランニング			2		○	1・2	森下（輪講）	同窓会寄附講座	○	◎						B		
ENG250	留学準備（イギリス）			2	◎		1・2	岩崎	夏の短期語学講座 申込者のみ					◎	○		B		
ENG251	留学準備（オーストラリア）			2		◎	1・2	宮崎	春の短期語学講座 申込者のみ					◎	○		B		
専門必修科目										V. 講義内容（シラバス）→ P. 348～P. 427									
SES100	基礎ゼミナール	2			○		1	平野、丹木、森下、 宮崎、杉村、岩崎、 河北	原則として2年次に履修するゼミⅠ・Ⅱ担当教員と同一であること。但し、教員のサバティカルにより同一教員が履修できない場合がある。詳細は6月のゼミナール説明会で説明。		○		◎				B		
SES150	プレ・ゼミナール（永野）	2				○	1	永野					◎	○	○			B	
SES150	プレ・ゼミナール（平野）	2				○	1	平野				○		◎	○				
SES150	プレ・ゼミナール（近藤）	2					1	2017年度休講			○	○	○	○	◎			B	
SES150	プレ・ゼミナール（丹木）	2				○	1	丹木			○	○	◎		○				
SES150	プレ・ゼミナール（森下）	2				○	1	森下				○	◎						
SES150	プレ・ゼミナール（宮崎）	2				○	1	宮崎				○	○	○		◎		B	
SES150	プレ・ゼミナール（飯田）	2				○	1	飯田				○	◎		○			B	
SES150	プレ・ゼミナール（神谷）	2				○	1	神谷					◎	○	○	○			
SES150	プレ・ゼミナール（Gould）	2				○	1	T. Gould				○	◎	○	○	○			
SES150	プレ・ゼミナール（Oliver）	2				○	1	C. Oliver					○	○	○	◎		B	
SES150	プレ・ゼミナール（杉村）	2				○	1	杉村				○	○	○	○	◎		B	
SES150	プレ・ゼミナール（狩野）	2				○	1	狩野				○	◎	○	○	○		B	
SES150	プレ・ゼミナール（小林）	2					1	2017年度休講			◎	○	○		○	○		B	
SES150	プレ・ゼミナール（Thomas）	2					1	2017年度休講			○	○	○	○	○	◎		B	
SES150	プレ・ゼミナール（岩崎）	2				○	1	岩崎			○	◎		○		○		B	
SES150	プレ・ゼミナール（Lupas）	2				○	1	M. Lupas			◎	○	○	○		○			
SES200	ゼミナールⅠ（永野）	2			○		2	永野		原則として、ゼミⅠとゼミⅡは同一教員の担当科目を履修。			◎	○					
SES200	ゼミナールⅠ（平野）	2			○		2	平野					○	◎	○	○			B
SES200	ゼミナールⅠ（近藤）	2					2	2017年度休講				○	○	○	○	◎			B
SES200	ゼミナールⅠ（丹木）	2			○		2	丹木			○	○	◎		○			B	
SES200	ゼミナールⅠ（森下）	2			○		2	森下				○	◎						
SES200	ゼミナールⅠ（宮崎）	2			○		2	宮崎				○	○			◎		B	
SES200	ゼミナールⅠ（飯田）	2					2	2017年度休講				○	◎		○				

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DPとの関連性						SL関連度	
		必修	選択	選択	春学期	秋学期				(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)		
SES200	ゼミナール I (神谷)	2			○		2	神谷			◎	○	○				
SES200	ゼミナール I (Gould)	2			○		2	T. Gould		○	◎	○	○	○			
SES200	ゼミナール I (Oliver)	2			○		2	C. Oliver			○	○	○	◎		B	
SES200	ゼミナール I (杉村)	2			○		2	杉村		○	○	○	○	◎		B	
SES200	ゼミナール I (狩野)	2			○		2	狩野		○	◎	○	○	○		B	
SES200	ゼミナール I (小林)	2					2	2017年度休講		○				◎		B	
SES200	ゼミナール I (Thomas)	2			○		2	Thomas		◎	○		○				
SES200	ゼミナール I (岩崎)	2			○		2	岩崎		○	◎		○			B	
SES200	ゼミナール I (Lupas)	2			○		2	M. Lupas		◎			○	○	○	B	
SES300	ゼミナール II (永野)	2				○	2	永野				◎	○	○			
SES300	ゼミナール II (平野)	2				○	2	平野			○	◎	○	○			
SES300	ゼミナール II (近藤)	2					2	2017年度休講		○	○	○	○	◎		B	
SES300	ゼミナール II (丹木)	2				○	2	丹木	原則として、ゼミ I とゼミ II は同一教員の担当科目を履修。	○	○	◎		○		B	
SES300	ゼミナール II (森下)	2				○	2	森下			○	◎					
SES300	ゼミナール II (宮崎)	2				○	2	宮崎			○	○				◎	B
SES300	ゼミナール II (飯田)	2					2	2017年度休講			○	◎		○			B
SES300	ゼミナール II (神谷)	2				○	2	神谷					◎	○	○		B
SES300	ゼミナール II (Gould)	2				○	2	T. Gould			○	◎	○	○	○		
SES300	ゼミナール II (Oliver)	2				○	2	C. Oliver					○	○	○	◎	B
SES300	ゼミナール II (杉村)	2				○	2	杉村				○	○	○	○	◎	B
SES300	ゼミナール II (狩野)	2				○	2	狩野				○	◎	○	○	○	B
SES300	ゼミナール II (小林)	2					2	2017年度休講			○	○	◎				B
SES300	ゼミナール II (Thomas)	2				○	2	飯田			◎	○		○			B
SES300	ゼミナール II (岩崎)	2				○	2	岩崎			○	◎		○			
SES300	ゼミナール II (Lupas)	2				○	2	M. Lupas			◎			○	○	○	B
専門選択科目 (異文化理解コース)										V. 講義内容 (シラバス) → P. 428 ~ P. 447							
HST310	東洋研究			4	◎		1・2	玉置					◎				B
HST302	西洋研究			4			1・2	2017年度休講		隔年開講		○	◎		○		B
JPN311	日本文化			4			1・2	2017年度休講				◎		○		B	
HST301	英米史			4	◎		1・2	森下	隔年開講			◎				B	

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DPとの関連性						SL関連度	
		必修	選択	選択	春学期	秋学期				(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)		
HST300	比較社会史			4		◎	1・2	森下			○	◎				○	B
INT301	国際関係論			4	◎		1・2	山本 (和)			○	◎				○	B
ANT200	文化人類学			4		◎	1・2	C. Oliver			○	◎	○	○			A
ART200	現代美術			4	◎		1・2	G. Freddes				◎		○			
EDU302	比較・国際教育学			4	◎		1・2	杉村	言語教育コースにも算入可		○	◎			○	○	B
EDU321	社会正義のグローバルリテラシー			4			1・2	2017年度休講	隔年開講 注1			◎					A
EDU320	言語とリテラシー教育			4		◎	1・2	M. Andrade	隔年開講 注1 言語研究コースにも算入可		○	◎	○	○			
PHL210	倫理学			4		◎	1・2	丹木			○	◎			○		B
SOC301	平和と開発			4	◎		1・2	Thomas			○	○	◎	○			B
専門選択科目 (英米文学研究コース)									V. 講義内容 (シラバス) → P. 448 ~ P. 455								
LIT323	イギリスの文化と文学			4	◎		1・2	山本 浩							◎		
LIT310	英詩研究			4		◎	1・2	飯田	隔年開講			◎		○			
LIT320	演劇研究			4			1・2	2017年度休講	隔年開講			◎		○			
LIT321	小説研究			4			1・2	2017年度休講	隔年開講		○	◎	○	○	○		
LIT322	映画と文学			4		◎	1・2	飯田			○	◎	○	○	○		
LIT324	キリスト教と文学			4			1・2	2017年度休講			○	◎	○				
ENG350	翻訳演習			4		◎	1・2	永野				◎	○	○	○		
専門選択科目 (言語研究コース)									V. 講義内容 (シラバス) → P. 456 ~ P. 463								
LNG310	社会言語学			4		◎	1・2	神谷			○	◎	○	○	○		A
LNG305	音声学			4		◎	1・2	大澤	言語教育コースにも算入可			◎	○				B
LNG330	日本語学			4	◎		1・2	宮崎	言語教育コースにも算入可		○	◎	○		○		A
LNG302	語用論			4			1・2	2017年度休講				◎	○	○			
ENG360	英語史			4		◎	1・2	山本 浩	英米文学研究コースにも算入可		○	◎	○		○		B
ENG300	通訳演習			4			1・2	2017年度休講			○	◎	○		○		
専門選択科目 (言語教育コース)									V. 講義内容 (シラバス) → P. 464 ~ P. 477								
LNG320	バイリンガル教育			4			1・2	2017年度休講	言語研究コースにも算入可		○	◎				○	B
EDU310	初等教育			4		◎	1・2	杉村				◎		○	○		B
PSY301	発達心理学			4		◎	1・2	森崎				◎					B
LNG325	第二言語習得			4		◎	1・2	T. Gould	言語研究コースにも算入可			◎	○				A

注1 専門科目4単位として算入する方法と英語選択必修科目4単位として算入する方法があります P. 46参照

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DPとの関連性						SL関連度
		必修	選択	選択	春学期	秋学期				(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	
EDU300	児童英語教育演習A			4	●		2	狩野	児童英語教育概説、児童英語指導者養成講座、第二言語習得のいずれかの単位を修得済であることが履修の条件	○	◎	○	○			A
EDU301	児童英語教育演習B			4		●	1・2	狩野		○	◎	○	○			A
EDU206	児童英語指導者養成講座			4		◎	1・2	杉村		○	◎	○	○			A
JPN300	日本語教育演習			4	●		2	宮崎	日本語教育概論の単位を修得済であることが履修の条件			○	○		◎	A
専門選択科目（その他）																
SES399	インデペンデント・スタディ			2			1・2	担当教員	詳細はP. 37参照	テーマによる						
ENG260	海外短期語学講座			2			1・2	短期留学制度	詳細はP. 45参照	○		◎		○		B
GCR200	3大学合同ペルースタディツアー「往還する南米日系人」			2			1・2	宮崎	詳細はP. 37参照	◎		○		○		B